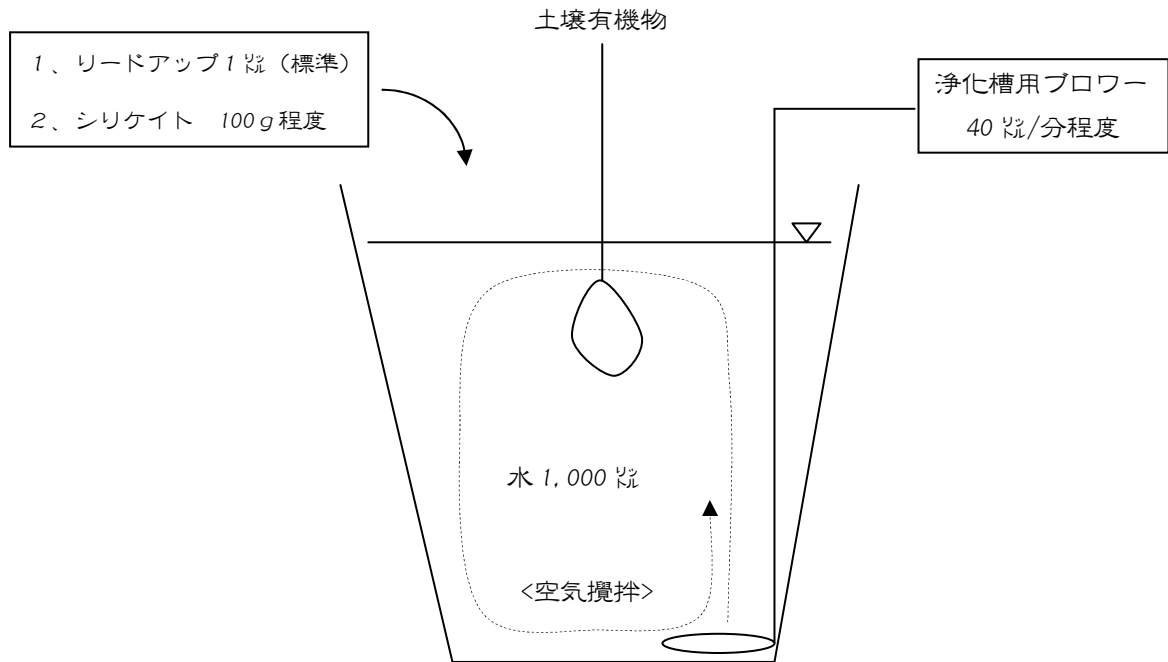


リードアップ培養液「土菌ちゃん」の製造方法（例）

田畑の土壌微生物活性法にはいろんな方法や資材がありますが、費用、製造期間、簡便さ、技術的な面などを考慮して土壌有機物から製造した土菌ちゃんによる土壌微生物活性法をご説明致します。
因みに、家畜尿、生ごみ汚水などの有機性水溶液からもリードアップ培養液の製造は可能です。

<標準的土菌ちゃん製造方法（使用タンク 1m³水槽の場合）>



<製造手順>

- ①水槽に水 1, 000 ㍓を張る。
- ②好みの土壌有機物を 10kg 程度（水槽容量の 1% 量）ネットに入れ水の中に吊るす。
土壌有機物の種類によって有機物含有量が異なりますので使用量を各自調節ください。
- ③リードアップ 1 ㍓とシリケイト 100g を入れる。
- ④エアレーション（空気量約 40 ㍓/分）を開始する。
- ⑤72 時間（3 日間）経過後土壌有機物のみを取り出し、エアレーションは継続する。
- ⑥エアレーション継続 3～5 日（通算 6～8 日）後、大腸菌群の存在を確認する。
- ⑦大腸菌群確認後、大腸菌群が「不検出」であれば土菌ちゃんとして使用できる。
⇒【注意事項】（1）液に上積みに透明感があり、悪臭や原料臭がないこと。
（2）大腸菌群が「不検出」であること。を厳守する。
- ⑧大腸菌群が検出されたらリードアップを 0.5 ㍓追加しエアレーションを継続する。
- ⑨⑧から 2～3 日後、再度大腸菌群を測定する。大腸菌群が「不検出」になるまでエアレーションを続ける。

リードアップ培養液「土菌ちゃん」の使用方法（例）

- (1) 標準製法の場合→田畑 1 m²あたり原液 10ml(10a あたり 10 L)使用
※希釈倍率は田畑の土壌の含水率を考慮してお決め下さい。(例：1 m²あたり 1 L 散水時 100 倍希釈)
- (2) 上記要領で月 1 回程度ご使用下さい。ただし、生長期などの状況に応じて 2～3 回ご使用下さい。
また、礼肥的なご使用をお勧めします。作物収穫後は田畑 1 m²あたり原液 30ml 程度ご使用下さい。作物残渣の腐植化を促進し次の作物生産に効果的です。
- (3) 効果的な「土菌ちゃん」のご使用方法
- ①播種、定植時前のご使用を勧めます。
- 播種：液化堆肥 10 倍希釈液に一晩(約 12 時間)～3 日程度種を浸漬後、播種する。
定植：〃苗を浸漬後、定植する。
- ※浸漬できない場合は、10 倍希釈液を 2～3 日連続で散水ください。
- ②葉面散布にもご使用頂けます。